

5月 19-25日

## 格言 14章

89番の歌と祈り | 開会の言葉（1分） 田中慶一 | 長谷川貴史

### 神の言葉の宝

#### 1. 災害に遭うとき慎重に行動する（10分） 伊藤勇一

「全ての言葉」を信じてはいけない。 (格 14:15。塔研 23.02 23 ページ 10-12 節)

安易に感覚や経験に頼ってはいけない。 (格 14:12)

エホバの組織からの指示に従わない人の言うことを聞いてはいけない。 (格 14:7)



じっくり考えてみよう 長老の皆さん、災害時にエホバに頼り指示に従えるよう準備を整えていませんか。 (塔研 24.07 5 ページ 11 節)

#### 2. 宝石を探し出す（10分） 田中克彦

格 14:17 すぐに怒る人は愚かなことをし、物事をよく考える(\*思考力のある)人は憎まれる。

「物事をよく考える人」は憎まれるとはどういうことか。

(洞-1 1049) しかし、①真に思考力を働かせる人が憎しみの的となる場合もあります。箴言 14 章 17 節の、「物事をよく考える人は憎まれる」という言葉は、この考えを言い表わしたものと考えられます。自分自身考えることをしない人たちは、知能を活用する人々を好意的に見なすことが少なくありません。また、神のご意志を行なうことに思いを働かせる人は、概して憎しみを受けます。イエス・キリストが、「あなた方は世のものではなく、わたしが世から選び出したので、そのため世はあなた方を憎むのです」と言われたとおりです。 (ヨハ 15:19) ②もちろん、箴言 14 章 17 節の「思考力」に当たる原語の言葉は、悪意のある思考も含み得ます。したがって、この聖句は、悪事を考案する者は憎まれるという意味にもなり、一部の翻訳はそれに従って、「また、邪悪なことを企てる者は憎まれる」と読んでいます。—ユダヤ、ロザハム。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。(格 14:4 牛がいない所では飼い葉おけはきれいだが、豊かな収穫をもたらすのは牛の力である。)飼い葉おけが汚いことを嘆かず、感謝できる。

### 3. 聖書朗読 (4分) 格 14:1-21 (教励 第 11 課) 有川聖七

## 野外奉仕に励む

### 4. 会話を始める 長谷川真穂 愛込 3-3 柴田さつき

(3分) 公共エリア伝道。経済面の不安を口にした人に聖書のメッセージを伝える。 ([愛込 レッスン 3 ポイント 3](#))

### 5. 再び話し合う 宮崎倫子 愛込 9-4 福永和子

(4分) 家から家で。前回相手が関心を示したテーマの雑誌を提供する。 ([愛込 レッスン 9 ポイント 4](#))

### 6. 教えて育てる 大谷恵美子 教励 19 竹林亜矢子

(5分) 聖書を学んでいる人に毎日聖書を読むよう勧め、そのための具体的な方法と一緒に考える。 ([教励 第 19 課](#))

## クリスチャンとして生活する

### 126 番の歌

### 7. 災害に備える (15分) 討議。 大谷優志



長老が扱う。支部事務所や長老団からのお知らせがあれば伝える。

「終わりの時代」に生きている私たちは、難しい問題が増えていくことを予期しています。 ([テモニ 3:1](#)。 [マタ 24:8 の注釈](#)を参照。) 災害時には、命を守るための指示が組織からふさわしいタイミングで与えられます。その時生き残れるかどうかは、今備えをしておくかどうかに大きく左右されます。信仰面と物質面の両方で備えておく必要があります。 (格 14:6, 8)

- 信仰面で備える。良い習慣を身に付けましょう。いろいろな方法で伝道するスキルを磨いてください。一時的に会衆の仲間と連絡が取れなくなったとしても、落ち着いて行動しましょう。 (格 14:30) エホバとイエス・キリストはすぐそばにいてくれます。 ([行 176 ページ 15-17 節](#))
- 物質面で備える。非常用持ち出し袋を用意することはもちろん、在宅避難が長引く場合に備えて、一定量の食料、水、薬などを各家庭でストックしておくべきです。 (格 22:3。 [目 17.5.4](#))

「非常事態に備えていますか」の動画を再生する。次の質問をする。

#### 1. 災害時にエホバはどのように助けてくださいますか。

「平静を保ち、信頼するなら、力を得る」(イエス 30:15)、今エホバへの信頼を強める必要がある。私たちが大変な時に祈るなら、聖書の言葉を思い出し、落ち着きを保ち、良い決定を下せるように聖なる力で助けてください。

#### 2. 具体的にどんな準備ができますか。

身を守る準備として非常用持ち出し袋を用意しておく。救急用品、水、保存食、聖書、その他の必要な物を入れておく。

在宅避難の期間が長引くことに備えて生活に必要なものを備蓄しておく。（組み立て式の簡易トイレや処理剤なども大切。）

いざと言う時に援助を受けるためにも自分の連絡先が変わったら長老たちに忘れず伝えておく。家族の崇拜の時に今後どんな災害が予想されるかを考えておく。

テロや戦争や暴動などの非常事態が起きることがあり、様々なケースに応じてどこで落ち合つか、長老たちとどのように連絡を取るかを考えておく。

### 3. 被災した仲間をどのように助けることができますか。

#### ①地元で災害が起きた場合：

警報や避難指示が出されているなら、野外奉仕グループの監督は全員が安全な場所に居ることを確認する。

災害が発生したら監督は全員の安否とどんな援助が必要かを確認する。

救援活動を組織するには時間が掛かるかも知れず、救援物資が限られている場合は特にそうなので、一人一人が必要な備えをし、当局の指示に従い、長老たちに状況を伝えておくことは重要。

(フイリ 2:4 他の人のことにも気を配りましょう。)十分な備えをしておけばもっと大変な仲間を助けることができる。被災していても自分の会衆や近隣の会衆の仲間を助けられるかもしれない。

一時的に住む場所を必要とする仲間を家に留めてあげることができるかもしれない。食料などの生活必需品を必要としている仲間がいるなら、分けてあげられる。安全が確保できるなら、家のかたづけや修理を手伝えるかもしれない。

#### ②非常事態が別の地域で生じた場合：

支部事務所が兄弟たちを割り当てて必要な救援活動を組織する。今の内に災害救援奉仕の申込書を提出しておくと良い。

祈りには大きな力があり、兄弟姉妹のために祈ろう。可能なら救援活動に参加する。

世界的な活動のために寄付することもできる。

エホバの言葉と組織に進んで従うなら、エホバのお名前を高めることになる。

エホバとの絆を強め、身を守るために備えをし、仲間を助ける。

非常事態に備えるそのような努力をエホバは祝福してください。

考えてみよう 最近起きた災害から、備えをしておくことについて何を学んだだろうか。

組織のこうした啓発や世界で頻発する災害の多さから、自分たちに降りかかる可能性が高いことを理解していくとも、備えの大切さを本当に認識できていない自分に気が付く。防災の意識を保ち実際の継続的な備えを生活習慣にどのように組み込んでいくべきか良く計画し、実施するよう真剣に取り組む必要がある。

## 8. 会衆の聖書研究（30分）徹26章18-22節、209ページ囲み 司会：浮田蒼 朗読：梅原直行

### 閉会の言葉（3分） | [116番の歌と祈り](#) 竹林直毅

（格14:1-35）本当に賢い女性は自分の家庭を築き上げ、愚かな女性は自分の手で家庭を破壊する。2 正直に歩む人はエホバを畏れている。人を欺く行いをする人は神を軽んじている。3 愚かな人の傲慢な言葉はむち\*のようであり、賢い人たちの唇は彼ら自身を守る。4 牛がいない所では飼い葉だけはきれいだが、豊かな収穫をもたらすのは牛の力である。5 忠実な証人はうそをつかない。不誠実な証人はうそばかり言う。6 あざける人は知恵を得ようとするが得られない。理解力のある人は知識を容易に手に入れる。7 愚かな人から離れてよ。彼の口から知識が出る